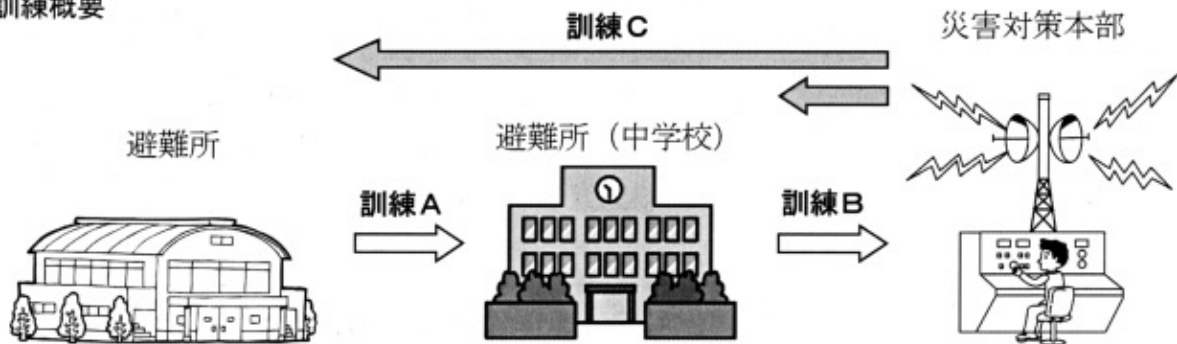


北地区自治連合会防災訓練 <情報伝達訓練>

- 1 主催 北地区自治連合会、生駒市
- 2 日時 平成29年11月19日(日) 9:00~10:00
- 3 場所 各市指定避難所
- 4 訓練概要



【訓練A】 各市指定避難所から中学校への情報伝達訓練 (9:00~9:30)

- ① 各自治会長は各市指定避難所に集合し、避難所の情報を「避難所情報シート」に整理してください。
- ② 無線機の設置場所を確認し、無線機を取り出してください。
- ③ 9時ごろまでは中学校区グループ内の無線機で自由に練習していただいてもかまいません。9時30分までに④を行ってください。
- ④ 「避難所情報シート」の内容を避難所にある防災無線を使い、各中学校へ報告してください。このとき、モードは必ず『G〇〇中避難』にしてください。
- ⑤ 中学校に集まった自治会長は、各避難所からの情報を防災無線で受け、「情報整理シート」に集約してください。

【訓練B】 中学校から災害対策本部への情報伝達訓練 (9:30~9:45)

- ⑥ 各中学校に集まった自治会長は、「情報整理シート」に、中学校の集まった自治会の「避難所情報シート」分も加え、「情報整理シート」の内容を防災無線で災害対策本部へ報告してください。このとき、モードは必ず『個別』を選択してください。災害対策本部は以下の番号です。
生駒北中学校からは「**516**」
上中学校からは 「**517**」
鹿ノ台中学校からは「**518**」

【訓練C】 災害対策本部から避難所への情報伝達訓練 (9:45~10:00)

- ⑦ 災害対策本部から避難所へ情報を伝達します。このとき、各避難所は情報を「災害対策本部情報シート」に書き止めてください。
- ⑧ 各避難所は「避難所情報シート」「情報整理シート(中学校のみ)」「災害対策本部情報シート」を各施設のファックスで次のところへ送ってください。
送り先 生駒市役所 FAX 0743-74-9100
- ⑨ 以上で訓練は終了です。無線機を元のところに電源を入れたまま戻し、解散してください。

防災無線の概要

- (1) 生駒市の防災無線は、MCA無線で、82台の無線機を配備しています。
- (2) 市指定避難所・避難場所34か所のうち芸術会館美楽来を除く33か所の避難所に1台ずつ配備しています。
- (3) 学校施設は避難所となる体育館に、文化施設や体育施設は事務所に無線機を設置しています。
- (4) 学校施設の無線機は鍵のかかったボックス内にあります。鍵は学校体育館の鍵のナンバーを保管してくださっているかたが持っています。防災コンテナの鍵と同じ鍵です。
- (5) 学校施設の無線機設置場所

生駒北小中学校	体育館2階指導室	上中学校	体育館2階倉庫
旧) 生駒北小学校	体育館2階控室	真弓小学校	体育館2階放送室
鹿ノ台中学校	体育館2階放送室	あすか野小学校	体育館2階放送室
鹿ノ台小学校	体育館2階放送室		

- (6) 防災無線には3つのモードがあります。
 - すべての無線機で会話が聞こえる『全グループ』
 - 設定されたグループのみで会話が聞こえる『グループ』
 - 特定の無線機との1対1の会話ができる『個別』
- (7) 無線機で話すときは、無線機の側面のオレンジ色のボタン（「プレススイッチ」と言います）を押しながら話します。また、聞くときはプレススイッチを放して聞きます。また、同じグループの中では、一人が話している間は他の人は話すことができません。「〇〇〇〇です。どうぞ。」と言って交互に話します。
- (8) 最初にプレススイッチを押したときは、回線がつながるまで2秒ほどかかります。回線がつながると「ピポ」と音になるので、確認してから会話を始めます。
- (9) 災害時は、『グループ』での会話を基本とします。避難所の無線機は、中学校区毎でグループを設定しています。避難所からの情報は中学校でまとめ、災害対策本部へ報告します。話すときは必ずモードを『G〇中避難』にします。

《北地区自治連合会内での無線機のグループ》

『G北中避難』…… 北小中、旧) 北小体育館、生駒北スポーツセンター

『G鹿中避難』…… 鹿中、鹿小、鹿ノ台ふれあいホール

『G上中避難』…… 上中、真弓小、あすか野小、はばたき、北大和体育館、総合公園体育館

- (10) 災害対策本部からは、各避難所の無線機へ一括で情報を提供することができます。また、災害対策本部の無線機のみ、会話中の無線機に割り込んで情報を提供することができます。
- (11) 『個別』モードで話したいときは、必ずモードを『個別』にし、相手の無線機番号を押したのち、無線機の側面のオレンジのボタンを押しながら話します。なお、個別モードは『個別』とは表示されず、一番最後に発信した相手先が表示されています。
- (12) 無線機での話し方
 - ① 「災害対策本部、災害対策本部。こちら上中学校です。応答願います。どうぞ。」
 - － 呼び出す場合は、相手を先に呼び、こちらを名乗ります －
 - ② 「上中学校、上中学校。こちら災害対策本部です。どうぞ。」
 - － 応答する場合も、相手呼び、こちらを名乗ります －
 - ③ (要件を話す)

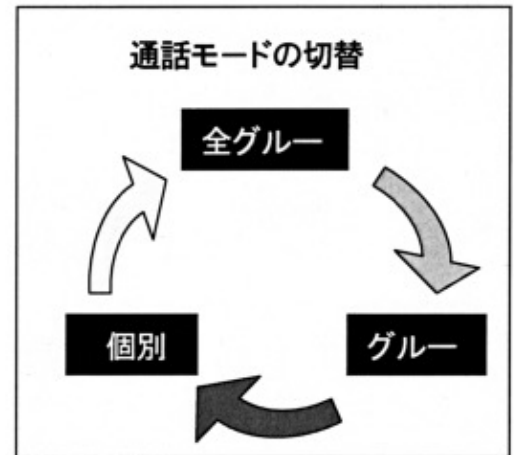
防災無線の使用法

【 防災無線の特性 】

- (1) 本市の防災無線は、生駒山上にあるアンテナを介して通信しています。
- (2) 3つの通信モードがあります。
 - ① **全グループモード** 通信内容を市が所有する82台すべての無線機と通信するときに使います。
 - ② **グループモード** 設定されたグループ内のすべての無線機と通信するときに使います。
 - ③ **個別モード** 特定の無線機1台とのみ通信するときに使います。
- (3) 避難所に設置してある無線機は、「G〇〇避難」でグループを設定しています。
- (4) 無線機に向かって左側面にあるオレンジのボタンを「プレススイッチ」と言います。

話すときは「プレススイッチ」を押したまま話します。

聞くときは「プレススイッチ」を放して聞きます。
- (5) グループ内で誰かが通話していると、そのグループ内の他の無線機は話中になります。



【 通話方法 】

- (1) 「モード切替ボタン」で「モード」を選択します。
- (2) 「個別モード」で特定の無線機を呼び出したい場合は、相手の無線機の「コード番号」を押します。
- (3) 「プレススイッチ」を押し、「ピー」という音が鳴るのを待ち、そのまま「プレススイッチ」押しながら通話します。

【生駒市災害対策本部との通話】

- (1) 「モード」を「個別」（画面には前回の通信先が表示されます。）にします。 ※「モード」ボタンを数回押し、「全グ」の前のモードにします。
- (2) 生駒市災害対策本部と通話するときは、コード番号「516」か「517」か「518」を押します。
- (3) 「プレススイッチ」を押し、「ピー」という音が鳴るのを待ち、そのまま「プレススイッチ」押しながら通話します。

【 防災無線での話し方 】

(1) 呼び出し

例 「災害対策本部、災害対策本部。
こちらは、〇〇避難所、〇〇避難所。
どうぞ。」

先に、相手方を連呼（3回以下）し、「こちらは」の後、自分側を連呼（3回以下）します。

(2) 応答

例 「〇〇避難所、〇〇避難所病院。
こちらは、災害対策本部です。
どうぞ。」

先に、相手方を連呼（3回以下）し、「こちらは」の後、自分側を言います。

避難所情報シート

(自治会)

避難者	人数	人		世帯数	世帯	
ライフラインの状況	電気	ガス	水道	電話		
災害対策本部への連絡事項						
例)						

【通信文】

A 「() 中学校避難所、() 中学校避難所。

こちら(△) 避難所、(名前) です。応答願います。」

B 「はい。(△) 避難所、(△) 避難所。

こちら(○) 中学校避難所、(名前) です。どうぞ。」

A 「(△) 避難所、(◇) 自治会の被害状況を報告します。

避難者数() 人、避難世帯数() 世帯。

ライフラインの状況は、() が使用できません。

(災害対策本部への連絡事項 ☆)

以上、よろしく願います。どうぞ。」

B 「了解しました。復唱します。() ですね。

どうぞ。」

A 「間違いありません。これで通信を終了します。」

【通信文】

A 「災害対策本部、災害対策本部。こちら（△）中学校避難所、（名前）です。応答願います。」

B 「はい。（△）中学校避難所、（△）中学校避難所、こちら災害対策本部（名前）です。どうぞ。」

A 「（△）中学校区の避難状況等を報告します。」

（ 各自治会の避難状況等を読み上げてください。災害対策本部への連絡事項については、どの避難所からの連絡かも伝えてください。 ）

以上です。どうぞ。」

B 「了解しました。復唱します。（

）ですね。どうぞ。」

A 「間違いありません。これで通信を終了します。」

災害対策本部情報シート（自治会名 _____ ）

--